

第二十七回 貴族院議事速記録第七號

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案特別委員會

大正五年一月二十一日(金曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第七號 大正五年一月二十一日

午前十時開議

第一 公爵毛利元昭君、男爵中村雄次郎君、男爵眞鍋斌君、  
磯邊包義君、岩村兼善君、海江田準一郎君請暇ノ件

第二 郵便法中改正法律案(政府提出)

第三 鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出)

第四 電信法中改正法律案(政府提出)

第五 海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案(政  
府提出)

第六 國庫出納金端數計算法案(政府提出)

第七 造幣局設備擴張費ニ關スル法律案(政府提  
送付)

第八 假置場法中改正法律案(衆議院提出)

第九 國語國字國文ノ改良ニ關スル法律案(政府提  
送付)

第十 軍人恩給法規中改正ノ請願

第十一 米價調節ニ關スル請願

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

[長谷川試補朗讀]

去ル十七日第六部ニ於テ豫算委員副委員長ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果藤田四郎

君當選セリ

同日豫算委員會ニ於テ豫算委員副委員長ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果男爵有地品之允君當選セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵青木 信光君 副委員長 仁尾 惟茂君

委員會

委員長 伯爵松平 直之君 副委員長 子爵樋口 誠康君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

造幣局設備擴張費ニ關スル法律案可決報告書

去ル十八日豫算委員第三分科主査男爵久保田讓君主査辭任ニ付同日其ノ補  
選舉ヲ行ヒシニ男爵高木兼寛君當選セリ

同日豫算委員會ニ於テ決定シタル分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

第三分科兼第六分科

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

國庫出納金端數計算法案特別委員會

委員長 侯爵徳川 賴倫君 副委員長 小野田 元熙君

帝國大學特別會計法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵林 博太郎君 副委員長 子爵牧野 忠篤君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

國庫出納金端數計算法案可決報告書

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

鐵道船舶郵便法中改正法律案

電信法中改正法律案

海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案

一昨十九日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

大正三年臨時事件ノ經費支辨ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町 實正君 副委員長 子爵井上 匡四郎君

假置場法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵徳川 義親君 副委員長 男爵東郷 安君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

假置場法中改正法律案可決報告書

請願委員會特別報告第二號

昨二十日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
請願文書表第四回報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、公爵毛利元昭君、男爵中村雄次郎君、男爵眞鍋斌君、磯邊包義君、岩村兼善君、海江田準一郎君請暇ノ件、毛利公爵病氣ニ付三十七日間、中村男爵病氣ニ付会期中、眞鍋男爵病氣ニ付二十四日間、磯邊君病氣ニ付會期中、岩村君病氣ニ付十六日間、海江田君病氣ニ付十六日間ノ請暇デゴザイマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、郵便法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第三、鐵道船舶郵便法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第四、電信法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第五、海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案、政府提出、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

郵便法中改正法律案

右  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正五年一月十八日

内閣總理大臣	伯爵大隈	重信
司法大臣	尾崎	行雄
遞信大臣	箕浦	勝人

郵便法中改正法律案

郵便法中左ノ通改正ス

第二條中「及其ノ使用人」ヲ「其ノ代表者又ハ代理人其ノ他ノ從業者」ニ改ム

第十條ノ二 郵便ニ依ル取立金ハ拂渡其ノ他ノ處分ニ關シテハ之ヲ郵便爲

替金トシ郵便爲替法ヲ適用ス

第十一條中「又ハ郵便ニ依ル取立金」ヲ削ル

第十五條 前條ニ依リ開披シタル郵便物ニシテ尙配達還付ヲ爲スコト能ハ  
サルモノハ郵便官署ニ於テ之ヲ保管ス

保管ノ郵便物ニシテ有價物ニ非サルモノハ其ノ保管開始ノ日ヨリ三箇月  
内ニ交付ヲ請求スル者ナキトキハ之ヲ棄却シ其ノ有價物ニシテ滅失若ハ  
毀損ノ處アルモノ又ハ其ノ保管ニ過分ノ費用ヲ要スルモノナルトキハ之  
ヲ賣却シ其ノ代金ヲ保管ス但シ賣却ニ要シタル費用ハ賣却代金ヲ以テ之  
ニ充ツ

有價物及賣却代金ハ郵便物ノ保管開始ノ日ヨリ一箇年内ニ交付ヲ請求ス  
ル者ナキトキハ國庫ニ歸屬ス

第十六條 郵便官署ハ郵便物引受ノ際郵便禁制品ヲ封入シ又ハ成規ニ違反  
シタルモノアリト認ムルトキハ差出人ニ其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得  
差出人前項ノ開示ヲ拒ミタルトキハ其ノ郵便物ノ取扱ヲ拒絶ス

第十六條ノ二 郵便官署ハ其ノ取扱中ニ係ル郵便物ニシテ郵便禁制品ヲ封  
入シ又ハ成規ニ違反シタルモノアリト認ムルトキハ差出人又ハ受取人ニ  
其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

差出人若ハ受取人前項ノ開示ヲ拒ミタルトキ又ハ差出人若ハ受取人ニ其  
ノ開示ヲ求ムルコト能ハサルトキハ主務大臣ノ指定シタル郵便官署ニ於

テ其ノ郵便物ヲ開披スルコトヲ得

第二十條中「書狀」ヲ「信書」ニ改ム

第二十五條ノ末尾ニ「受取人不明其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ差出人ニ還付ス  
ル場合亦同シ」ヲ加フ

第二十八條 郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信、電話、無線電信、無線電  
話、年金恩給支給、國庫金受拂又ハ收入印紙賣捌ノ事務ニ關スル郵便物  
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ無料ト爲スコトヲ得

第三十二條中「又ハ郵便ニ依ル取立金」ヲ削ル

第三十八條中「損害」ヲ「郵便官署ノ賠償スヘキ損害」ニ改ム

第三十六條中「二箇月」ヲ「三箇月」ニ改ム

第四十條中「六箇月」ヲ「三箇月」ニ改ム

第四十一條 第二條ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役及千圓以下ノ罰金ニ

前項ノ場合ニ於テ金錢物品ヲ收得シタルトキハ之ヲ沒收ス既ニ消費又ハ  
處ス

讓渡シタルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十二條 何人ト雖第三條ノ場合ニ於テ郵便物ノ運送ヲ拒ミ又ハ其ノ運

送ヲ爲ササル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條中「科料」ヲ「三十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改ム

第四十四條 郵便官署ノ取扱中ニ係ル信書ノ祕密ヲ侵シタル者ハ一年以下

郵便事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ

五百圓以下ノ罰金ニ處ス

郵便事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ

五百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第四十五條 削除

第四十六條中「五十圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改ム

第四十七條 不法ニ郵便ニ關スル料金ヲ免レ又ハ他人ヲシテ之ヲ免レシメ

タル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

郵便事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ

五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條 行使ノ目的ヲ以テ帝國政府若ハ郵便聯合條約國政府ノ發行ス

ル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ヲ偽造若ハ變造シ又ハ其ノ

使用ノ痕跡ヲ除去シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

偽造、變造シ若ハ使用ノ痕跡ヲ除去シタル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表

彰スヘキ證票ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ輸入シ、人ニ交付シ若

ハ其ノ交付ヲ受ケタル者ハ罰前項ニ同シ

第四十九條 削除

第五十條 削除

第五十一條 削除

第五十二條 郵便官署ノ取扱中ニ係ル郵便物ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、

毀損、隱匿若ハ放棄シ又ハ受取人ニ非サル者ニ交付シタル者ハ三年以下

ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條又ハ第二百

五十九條ニ該當スル場合ニ於テハ同條ノ刑ニ處ス

第五十三條 郵便事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ郵便物ノ取扱ヲ爲

サヌ又ハ之ヲ遲延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰

金ニ處ス

郵便事務ニ從事スル者重大ナル過失ニ因リ郵便物ヲ失ヒタルトキハ二百

圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條 郵便専用ノ物件又ハ現ニ郵便ノ用ニ供スル物件ニ對シ損傷其

ノ他郵便ノ障碍ト爲ルヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ五百

圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十五条 第四十一條、第四十四條、第四十七條、第四十八條、第五十二

條及第五十四條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四十八條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其ノ豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲

役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ用ニ供シタル物ハ之ヲ沒收ス

第五十五條ノ二 第四十八條ハ何人ヲ問ハス帝國外ニ於テ其ノ罪ヲ犯シタ

ル者ニ之ヲ適用ス

第五十五條ノ三 偽造、變造シ又ハ使用ノ痕跡ヲ除去シタル帝國政府又ハ

郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證

票ハ何人ニ屬スルヲ問ハス裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外行政處分ヲ以テ

之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ差出シタル郵便物、郵便ニ依ル取立金又ハ本法施行前ニ生シ

タル損害賠償ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

刑法施行法第二十六條第十號ハ之ヲ削ル

鐵道船舶郵便法中改正法律案

右  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正五年一月十八日

内閣總理大臣 伯爵大隈 重信  
遞信大臣 箕浦勝人

鐵道船舶郵便法中改正法律案

鐵道船舶郵便法中左ノ通改正ス

第一條中「私設鐵道條例」ヲ「私設鐵道法又ハ輕便鐵道法」ニ改ム

第八條中「要求シタルトキハ」ノ下ニ「特ニ指定シタル場合ヲ除クノ外」ヲ加

フ

第十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

郵便車ノ使用料金ハ其ノ供給スル容積ニ應シ當該鐵道運送業者ノ定メタ

ル最低等級旅客一哩運賃ノ左ノ割合ニ依ル

三百立方呎迄

一哩每ニ

十割以内

五百立方呎迄

一哩每ニ

二十割以内

七百立方呎迄

一哩每ニ

三十割以内

一千立方呎迄

一哩每ニ

五十割以内

一千立方呎迄超過シタルトキハ全容積ニ對シ百立方呎迄ニ付一哩每ニ六割以内

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

郵便車ニ依ラシテ郵便物ヲ運送セシムル場合ニ於ケル運送料金ハ當該鐵道運送業者カ其ノ運送方法ニ付定メタル普通貨物運賃ノ最低額ノ半額

以内トス

第十四條中「五十圓以上五百圓以下ノ罰金」ヲ「千圓以下ノ罰金」ニ改ム

第十五條中「二十圓以上二百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第十六條中「十圓以上」ヲ削ル

第十七條 鐵道運送業者又ハ船舶運送業者カ其ノ取扱中ニ係ル郵便物ヲ過失ニ因リ亡失又ハ毀損シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「科料」ニ改ム

第十九條 鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ノ代表者又ハ代理人其ノ他ノ從刑ニ處ス

附 則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
輕便鐵道法第八條ハ之ヲ削ル電信法中改正法律案  
右  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス  
大正五年一月十八日電信法中改正法律案  
電信法中左ノ通改正ス電信法中改正法律案  
電信法中内閣總理大臣 伯爵大隈 重信  
遞 信 大 臣 箕 浦 勝 人

第五條 宛所ニ配達シ又ハ受信人ニ交付シ得サル電報ハ電信官署ニ於テ之ヲ保管ス其ノ保管開始ノ日ヨリ三十日內ニ交付ノ請求ナキトキハ之ヲ棄却ス

第二十二條中「電話及」ヲ「電話、無線電信、無線電話」ニ改ム

第二十七條 不法ニ電信、電話ヲ施設シ又ハ不法ニ施設シタル電信、電話ヲ使用シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條ノ二 主務官署カ命令ノ定ムル所ニ依リ私設ノ電信又ハ電話ノ撤去ヲ命シタル場合ニ於テ期間内ニ之ヲ撤去セサル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

撤去ヲ命セラレタル私設ノ電信又ハ電話ヲ使用シタル者亦同シ

第二十八條 私設ノ電信若ハ電話ヲ他人ノ用ニ供シタル者又ハ其ノ私設者ニ非スシテ之ヲ使用シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

私設ノ電信又ハ電話ニ依頼シ通信ヲ爲サシメタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第二十七條、第二十七條ノ二第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ金錢物品ヲ收得シタルトキハ之ヲ沒收ス既ニ消費又ハ譲渡シタルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第三十條 第三條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ電信、電話ノ供用ヲ拒ミ又ハ第九條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ鐵道用地、停車場建物ノ使用ヲ拒ミ若ハ停車場建物ノ建築改築ヲ爲ササル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 電信官署又ハ電話官署ノ取扱中ニ係ル通信ノ祕密ヲ侵シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

電信又ハ電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ二年以下本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十二條 不法ニ電信、電話ニ關スル料金ヲ免レ又ハ他人ヲシテ之ヲ免

レシメタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

電信又ハ電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條中「虛偽ノ電報」ヲ「電信又ハ電話ニ依リ虛偽ノ通信」ニ、「一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ、「輕懲役」ヲ「七年以下ノ懲役」ニ改メ

同條第三項ヲ削ル  
第三十四條 削除  
第三十五條 電信官署ノ取扱中ニ係ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、毀損、隱匿若ハ放棄シ又ハ受取人ニ非ナル者ニ交付シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ依ル

第三十六條 電信若ハ電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ通信ノ取扱ヲ爲ササルトキ又ハ之ヲ遲延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 電信若ハ電話ニ依ル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條中「一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「三年以下ノ懲役又ハ一百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第三十九條中「科料」ヲ「十圓以下ノ科料」ニ改ム

第四十條中「五圓以上百圓以下ノ罰金」ヲ「千圓以下ノ罰金」ニ、「所爲」ヲ「行爲」ニ改ム

第四十一條 第二十七條、第二十七條ノ二第二項、第二十八條、第三十一條乃至第三十三條、第三十五條、第三十七條、第三十八條及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四十二條 削除  
附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕  
○國務大臣(箕浦勝人君) 日程第二ヨリ第五ニ至リマス四法律案ハ共ニ遞信事業ニ關スルモノデアリマス、一括シテ説明ヲ致シマス、郵便法、鐵道船舶郵便法、電信法ハ明治三十三年ノ制定ニ係ルモノデアリマス、十五年有餘ノ間ニ郵便電信ノ事務ハ非常ニ増進ヲ致シマシテ、今日ノ事情ニ適シナイモノガ段々アリマスノデ改正ヲ致シタイト云フ趣意デアリマス、郵便法改正ノ要

海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案

右  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス  
大正五年一月十八日

内閣總理大臣 伯爵大隈 重信  
遞信大臣 箕浦勝人

第一條 海底電信線保護萬國聯合條約ニ依ル海底電信線ヲ損壊シテ通信ヲ障碍シ又ハ障碍スヘキ危險ヲ生セシメタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ海底電信線ヲ布設又ハ修繕スルニ付已ムコトヲ得ナルニ出テタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス  
過失ニ因リ第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲又ハ海底電信線ヲ布設若ハ修繕スルニ付已ムコトヲ得スシテ海底電信線ヲ損壊シタル者ハ直ニ無線電信ニ依リ電信官署又ハ帝國領事館ニ届出ツヘシ無線電信ニ依ルコトヲ得サルトキハ最初ニ著船シタル時ヨリ二十四時間内ニ其ノ地ノ電信官署又ハ帝國領事館ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條 海底電信線保護萬國聯合條約第五條第一項乃至第三項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 海底電信線保護萬國聯合條約第十條第二項ノ場合ニ於テ公書ノ呈示ヲ拒ミタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

暴行又ハ脅迫ヲ以テ前項ノ呈示ヲ拒ミタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
本法施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

點ハ郵便取立金及不能還付郵便等ノ取扱ヲ簡便ニ致シテ事務ノ簡捷ヲ圖ルト

云フコトガ第一、モウ一つハ郵便物ノ中ニ犯則ノ疑ガアルモノガアリマス、

其郵便物ヲ開イテ見ルコトヲ差出人ニ要求スルハ無論デアリマスガ、之ヲ受

取人ニモ要求スルコトガ出來ル法ヲ設ケルコトガ必要ナコトガ一箇條、ソレ

カラ郵便切手類ノ偽造變造又ハ一度使用シタルモノヲ其痕跡ヲ除キ去ラテ再

ビ之ヲ用ヒルコトヲ企テル者ニ對シテ嚴重ナル取締ヲ加ヘマシテ、未然ニ之

ヲ防遏スルノ法ヲ設ケ、ソレカラ刑罰規定ニ於キマシテ新刑法ト權衡ヲ保タ

シメル爲ニ此改正ヲ必要トスルト云フノガ郵便法ニ於ケル改正ノ重ナル點、

又鐵道船舶郵便法ニ於キマシテハ近年輕便鐵道ガ段々普及ヲシ發達ヲシテ參

リマシタノデ、此郵便物ノ搭載運搬ニ此輕便鐵道ヲモ利用スルノ必要ガ生ジ

マシタ、其關係等ヨリ致シテ第一ニ使用料金ノ改正ヲスルコトガ必要、其他ノ

改正ヲ要スル點ガアリマス、ソレト是モ矢張リ刑罰規定ニ於テ他ノ法ト權衡

ヲ保ツ必要ノ點ガアリマスノデ之ヲ改正スル、ソレカラ電信法改正ノ要點ハ

電信事務取扱ノ簡捷ヲ期スル爲ニ保管期間ヲ短縮イタシマスル、ソレカラ事

務用ノ爲ニ無料デ電信ヲ使ヒマス其範圍ヲ擴メルコトガ必要デアリマス、又

是モ刑罰規定ニ於キマシテ新刑法等ト或ハ無線電信ト權衡ヲ保ツ爲ニ改正ノ

必要ガアリマス、殊ニ又海底電線ヲ保護スル爲ニ十分ニ保護ヲ加ヘル爲ニ必

要ヲ感ズル次第デアリマス、ソレカラ最後ニ海底電信線保護萬國聯合條約罰

則、此法ハ明治三十五年ノ制定ニ係ルモノデアリマシテ、時勢ノ推移ニ伴ウ

テ改正ヲ必要トル箇條ヲ生ジマシタ、又新刑法其他ト刑罰規定ノ權衡ヲ保

ツ爲ニ改正ノ必要ヲ生ジマシタ次第デゴザイマス、以上四法案ニ對シマシテ

慎重ナル御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 唯今遞信大臣ノ説明イタサレマシタ四法案ハ皆同

一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、別ニ御質問モナイト認メ

マスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

郵便法中改正法律案外三件特別委員

侯爵細川 譲立君 子爵有馬 賴之君 荒川 義太郎君

小松 謙次郎君 男爵肝付 兼行君 男爵青山 元君

磯部 四郎君

尼崎 伊三郎君

日高 榮三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 第六、國庫出納金端數計算法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

### 國庫出納金端數計算法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年一月十八日

右特別委員長  
侯爵徳川 賴倫

### 貴族院議長公爵徳川家達殿 〔侯爵徳川賴倫君演壇ニ登ル〕

○侯爵徳川賴倫君 唯今議題ニナリマシタル國庫出納金端數計算法案ノ委員

會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル十八日ニ開會ヲ致シ

マシテ、正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、引續イテ開會ヲ致シマシタ、此法案ハ是

マデ國庫出納金ノ端數厘位ヲ切捨ルト云フコトハ大抵定マツテ居リマスガ、地

租並ニ一錢未滿ノ國庫出納金並ニ支拂金ハ今日マデ厘位ノ端數ヲ切捨ルト云

フコトガ殘ツテ居リマスノデ、是ハ事務簡便並ニ官民相互ノ便利ヲ計ルト云

コトカラ、此度改正法律案ヲ提出サレタト云フ趣旨デゴザイマシテ、委員會ニ

於キマシテハ二三ノ質問並ニ政府委員ノ説明ガゴザイマシタ結果、全會一致

ヲ以テ可決イタシマシタノデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○子爵稻垣 太祥君 讀會省略贊成

○侯爵徳川 賴倫君 贊成

○男爵田中芳男君 贊成

○男爵原口兼濟君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵肝付兼行君 贊成

- 子爵青木信光君 贊成  
○伯爵柳原義光君 贊成  
○伯爵萬里小路通房君 贊成  
○男爵藤井包總君 贊成  
○男爵黒瀬義門君 贊成
- 田島竹之助君 贊成  
○議長(公爵徳川家達君) 小野田君ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數  
ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、……原案ニ同意ノ諸君  
起立者 多數  
○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 第七、造幣局設備擴張費ニ關スル法律案  
出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告  
造幣局設備擴張費ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
- 大正五年一月十七日
- 右特別委員長  
子爵青木 信光  
貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔子爵青木信光君演壇ニ登ル〕
- 子爵青木信光君 造幣局設備擴張費ニ關スル法律案、特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡単ニ御報告イタシマス、此委員會ハ去ル十七日ニ開會イタシマシタ、本案ノ重ナル趣意ハ造幣局ノ設備ヲ擴張イタシタイト云フノデアリマス、然ルニ地金ヲ移入イタシマシテ、地金ヲ改鑄若クハ精製ヲ依頼スルモノガ年々殖エマシテ、其量モ極メテ多クナリマシテ、現今デハ休日ヲ廢シマシテ、夜業ヲ致シテ、漸ク其需ニ應ジテ居ル次第デ、此上尙ホ精製事業ガ殖エテ來リマスト、直チニ事業上困難ヲ來タス處ガアル故ニ、此際設備ヲ擴張イタ
- シテ、新ニ器械ヲ据附ケテ此時勢ノ要求ニ應ズルト云フヤウニ致シタイト云フノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ多少質問ハゴザイマシタガ、何等異議ナク原案ノ通り可決ニナリマシタ次第アリマス、此段御報告イタシマス  
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシタル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數  
○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス  
○子爵青木信光君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○子爵前田利定君 贊成  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
ザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○子爵青木信光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○伯爵柳原義光君 贊成  
○子爵前田利定君 贊成  
○男爵原口兼濟君 贊成  
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
通リデ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、假置場法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

假置場法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年一月十九日

右特別委員長  
侯爵德川義親

侯爵德川義親

〔侯爵德川義親君演壇ニ登ル〕  
〔侯爵德川義親君演壇ニ登ル〕

○侯爵德川義親君 假置場法中改正法律案ノ特別委員會ハ一昨十九日正副委員長ノ互選ニ引續キマシテ會議ヲ開キマシタ、本案提出ノ大體ノ理由ハ現今ノ假置場法ニ於キマシテハ假置場ノ中ニ於キマシテ内國原料ノミヲ使用シテ之ガ加工製造ヲスルコトヲ禁ジテゴザイマス、ソレカラ又此所ニ於キマシテ加工製造シタ物品ヲ内地ニ引取りリマス際ニ製品トシテ課稅イタシテ居リマス、ソレデアリマスカラ假置場ニ於テ當時内地向ノ製造ヲスルコトガ出來ナイノデゴザイマス、デ是ハ當業者ニ取ツテ甚ダ不便デアリ、不利益デアリマスノデ、此改正ノ法律案ハ是等ノ不便ヲ除キマス爲ニ内國原料ヲ假置場ニ於キマシテ使用スル、加工製造スルコトヲ認メマシテ、又其上ニ外國原料ニ加工製造イタシマシタ物品ヲ内地ニ引取りリマス場合ニハ、其原料ニ課稅ヲ致スト云フコトニ改正シタノデゴザイマス、此法律ハ當業者ニ取リマシテ誠ニ便利ナ法デアリマス、至ッテ簡単ナ法案デアリマシテ、政府委員ニ説明ヲ求メマシテ二三ノ質問モゴザイマシタガ、何等異議モナク満場一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ一ツ質問シタウゴザイマス、本案ニ付キマシテ本員ハ別ニ批難ノ意ヲ以テ伺フノデハアリマセヌガ、如何ニモ便利ニハ相違アリマセヌガ、前回ニモ大藏大臣ニ伺ヒマシタガ、一體假置場ナルモノハ外國貿易ノ爲ニ設ケテアル、外國カラ來ル品ニ便利ヲ與ヘテ、ソレニ内國品ヲ加ヘルト云フ道理ハ如何ト云フコトヲ伺ヒマシタガ、未ダ審ニ理由ヲ伺フコトガ出來マセヌ、且又其道理ト、關稅ノコトハ何レ列國同一デナケレバナラヌ、外國ノ例如何ト云フコトヲ伺ヒマシタ、ソレモ未ダ説明ガゴザイマセヌ、此二點ニ付テ今一應伺ヒマス、ソレニ本員ハ唯相當ニ便利ニハ相違ナイガ多少不公平ガ起リハセヌカト思フヤウナ感觸ヲ抱キマスカラ、之ニ對シテドウ

ゾ御説明ヲ得テ置キタイ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 目賀田男爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、專ラ貿易上ノ便利ヲ圖ル趣意デアリマシテ、他ニ何等ムヅカシイ道理ガアル譯デハゴザイマセヌ、要スルニ貿易上ノ便利ヲ圖ルト云フニ過ギマセヌ、外國ニ例ガアルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、歐羅巴ノ方ニ斯様ナ例ガアルト云フコトハ承知イタシマセヌガ、亞米利加ノ方ニハ其一例ガアルヤウデゴザイマス、

是ダケ御答ヲ致シマス

○橋本辰二郎君 私モ大藏大臣ニ御尋イタシタイ、第四條ノ二ニ依リマシテ外國貨物ヲ使用シタル時ハ外國貨物トスルト云フコトニ改正ニナッテ居リマスガ、サスレバ内國品ト外國品ト混合シテ使用シタルトキハ、是ハ當然外國品トシテ輸入稅ヲ課スルト云フ意味デアラウト思ヒマス、サウナリマスレバ若シ其品物ガ協定稅率ノ適用ヲ受ケルモノニアタナラバ、非常ナル不利益ヲ受ケルコトニナラウト思ヒマス、唯今大藏大臣ノ目賀田男爵ニ對スル御答辯ニ依リマスレバ、貿易上ノ便利ノ爲ニ改正案ヲ提出セラレタト云フコトニアリマスガ、其御趣意デアリマストスレバ、外國品ト内國品ト混合シテ製造シタルモノニ對シテハ、單ニ外國品ノ材料ノミニ稅ヲ徵收スルト云フコトニシタナラバ、愈々此假置場法ノ利用ヲ廣カラシメ、併セテ大臣ノ御希望ニナル通り便利タラシムル上ニ效果ガアラウト思ヒマスガ、此點ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス

〔政府委員松本重威君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本重威君) 假置場ニ於キマシテ外國ノ原料ト内地ノ原料トヲ混用シマシタ場合ニ於キマシテハ、輸出スル場合ニ於テハ御案内デモアリマセウガ稅ノ問題ハ起リマセヌ、其儘外國ニ積戻スコトガ出來マス、内地ニ之ヲ引取りマス場合ニ於テハ是ハ外國貨物ト見做サレマスルカラシテ輸入稅率、若シ其物ガ協定稅率ニ支配サレルモノナラバ協定稅率ヲ課セラレルト云フコトハ致方ハゴザイマセヌ、是ハ此度改正ノ法律案トハ直接ノ關係ハナカラウト信ジテ居リマス、此度改正シマス所ノ法律案ハ、其原料ニ對シテ既ニ輸入稅ヲ拂ヒ、ソレガ内國貨物トナリマシタモノヲ内國貨物ト混用シテ製造シマシタ場合ニ、之ヲ引取ルトキニハ内國貨物デゴザイマスカラ是亦稅ノ關係ハ起ラヌ、ソレガ此度ノ改正ノ要點デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案第一讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒ  
マス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、國語國字國文ノ改良ニ關スル請願、  
會議

〔意見書案ハ八十三頁ニ掲ケタリ〕

○谷森真男君 文部大臣カ又ハ文部省ノ政府委員ハ出席ニナツテ居リマスカ、  
出席デゴザイマスレバ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 文部大臣ガ出席シテ居ラレマス

○谷森真男君 御出ニナリマスカ、然ラバチヨット御尋ヲ申シタイ、此國語國  
字ノ改良ニ關スル請願デアリマスルガ、此事ニ付テハ豫テ文部省ニハ調査ノ  
機關ヲ置カレテアッタノデアリマス、然ルニ先年行政整理ノ爲ニ廢止サレテ  
アッタカト思ヒマス、其後其事ニ付テハ何等承ッテ居リマセヌガ、本年ノ豫算  
ニ於テハ多少ノ經費ヲ御見込ニナツテ居ッテ、矢張リ前ニ行ハレテ居ッタ如キ調  
査機關ヲ御設ケニナルト云フコトニ承ッテ居リマスガ、愈々左様デゴザイマス  
カ、一應伺ヒタウゴザイマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、御承知ノ通り  
ニ先年行政整理ノ結果デ此調査ノコトハ一時止マツテ居リマシテ……調査會  
ガ廢止ニナリマシタノデアリマス、然ルニ先頃教育調査會カラ此事ニ關スル  
建議モアリマシテ……左ナクトモ何トカシテ此國字國文ノ調査ヲ始メタイト  
思ツテ居リマシタガ、幸ヒ一ノ方案ヲ得マシテ即チ今度ノ豫算ニ提出シテアリ  
マスル通リニ國定教科書編纂ノ費用ノ中カラシテ其費用ヲ出シマシテ調査會  
ヲ組織シテ調査ヲ始メル積リデアリマス、勿論未ダ十分ナル費用ヲ得ル譯ニ  
參リマセヌカラ、極メテ小規模デアリマスガ、此豫算ガ通過イタシマスレバ  
必ズ本年カラ調査ヲ開始スル積リデアリマス

○谷森真男君 今一應モウ少シ承リタウゴザイマスガ、若シ本年提出ノ豫算  
ガ通過シタ以上ハ此機關ノ組織ハドノヤウナコトニ御立テニナルモノデアリ  
マスカ、先年文部省内ニ置カレテアッタヤウナ如キモノデアリマスカ、或ハ又

調査委員デモ更ニ御設ケニナツテ御ヤリニナルト云フコトデアリマスカ、其邊  
ノ御方針ヲ今少シ詳シウ承リタウゴザイマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 此組織ノコトニ付テハ教育調査會ノ希望モ内閣ノ  
直屬ニシタイト云フ註文モアリ、規模ヲ擴大シテ貰ヒタイト云フ註文モアリ  
マシタガ、何分目下ノ所サウ云フコトニモ參リマセヌ、又是ハ費用ノ關係モ  
アリマスカラ、先ヅ取敢ヘズ文部省内ニ置キマシテ調査會ヲ開イテ、サウシ  
テ此調査ノ端緒ヲ開キタイト云フ考デアリマス、デ追々其仕事ノ結果ガ現ハ  
レマシテ、又費用ノ出所ヲ見出シマシタナラバ、益々此調査ノ規模モ廣メ、組  
織モ擴大シテ行キタイト云フ考デアリマス

○谷森真男君 此請願ニ付キマシテハ前會ニ於キマシテ私ハ請願委員會へ再  
調査ヲ託スルコトヲ發議イタシマシタガ、ソレハ少數ニナリマシタ、尙ホ久保  
田男爵ノ發議ニ依リマシテ延期ト云フコトニナツテ居リマシタ次第デゴザイ  
マス、唯今段々文部大臣ニモ承リマシテ稍々文部省ノ意ノ在ル所ヲ承知イタシ  
タ次第デアリマスガ、右様ナ次第デアリマスレバ、此請願ハ政府ヘ出シテモ宜  
カラウト存ジマス、唯此請願ノ中ニハ甚ダ不適當ナ文字ガ少々這入ッテ居リマ  
ス、例へバ「子弟ノ教育上忍ヒ難キ所」ト云フヤウナコトガ見エテ居リマス、其  
邊ノ意味ヲ考ヘマスルト明治四十年以前ニ文部省デ行ヒマシタ所ノ小學讀本  
ナドノ假名遣ノ如キコトニナリハセヌカト云フ懸念ヲ持チマシタ、故ニ前會  
ニハモウ一應調査ヲ希望スルト申シマシタ、併ナガラ文部省ニモ調査機關ヲ  
置カレルト云フ譯デアリマスレバ、此請願ヲ通シテハナラスト云フ考デモゴ  
ザイマセヌカラ、今日ハ久保田男爵ハ御出席ガゴザイマセヌヤウデゴザイマ  
スカラ、久保田男爵ハ如何ナ御考デゴザイマスカ存ジマセヌガ、本員ハ之ヲ  
探擇ニナツテモ宜カラウカト思ヒマス

○男爵久保田謙君 此問題ハ先達テ本員ノ意見ニ依テ延期ニナリマシタガ、  
今日ハ已ムヲ得ヌコトデ遲參ヲ致シマシタガ、其後段々承リマス所ガ、文部  
省ニ於テモ調査機關ヲ設ケテ調査スルト云フコトデアル、先年既ニ調査機關  
ガ置イテアリマシタノヲ行政整理ノ結果ソレヲ廢サレマシテ私ハ甚ダ遺憾ニ  
思ツテ居リマシタガ、此度更ニ調査機關ヲ設ケテ調査スルト云フコトデアリマ  
スカラ、唯今谷森君ノ御心配ニナルコトモ能ク調査ニナリマシタ上結果ガ分  
ルコトデアリマスカラ、此請願ハ是デ通過シテ可決ニナルコトヲ望ミマス

○男爵石黒忠憲君 此國字國文ノ改良ニ關スル議ニ付キマシテ前會ニ谷森君ガ御發議ニナリマシテ、唯今文部大臣ヨリモ御説明ガアリマシタガ、本員ハ少シク文部大臣ニ伺ッテ見タイト思フコトガアリマス、ソレハ一月一日ノ發行ノ東京朝日新聞ニ文部大臣法學博士高田早苗君ノ名ヲ以テ「國字國文改良ノ急務」ト云フ一文ガ載セテゴザイマス、其中ニ斯ウ云フコトガゴザイマス「日本ト歐羅巴亞米利加人トノ間ニハ絶エズ貿易交通ノ上ニ於テ相接觸シテ居ルニモ拘ラズ外國人ニ日本ノ真相ヲ理解サレヌノハ國語國字ノ罪デアル」、又

「羅馬字採用ニハ大贊成デアル實ニ文字ノ改良國語ノ改良ハ今日日本ノ一大急務デアル」ト申シテ居ラルル、外ノ人ノ言葉ナラバ左程氣ニモ掛ケマセヌガ、一月一日ニ而カモ文教ノ主腦タル文部大臣ノ御言葉ニ於テ我國ノ文字ノ爲ニ……外國人ニ日本ノ眞相ヲ理解サレナイノハ國語國字ノ罪デアルト仰シヤツテアル、ソレハドウ云フ所ガ國語國字ノ罪デアルカラ解シマセヌ故ニ、外ノ御方ノ御説デゴザイマスレバ敢テ氣ニモ掛ケマセヌガ、文相ニ於テ、殊ニ一月一日ノ紙上デ之ヲ讀ンデ私ハ非常ナ感ジヲ起シマシタカラ一應伺ハウト思ヒマス

## 〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 石黒男爵ニ御答ヲ致シマスガ、此朝日新聞ニ載ッテ居リマスノハ大體私ノ話シタコトニハ相違ナイノデアリマスガ、所謂文責記者ニ在リデ私ノ申シタ通リニ現ハレテハ居ラヌト思ヒマス、ガ大體ニ於テ日本ノ國語國字ヲ成ルベク平易簡明ニシテ外國ノ人ガ之ヲ學バムトスルニモ學ビ易イヤウニシタイ、又ソレガ宜カラウト云フコトハ私共ハ切ニ感ジテ居ルコトデゴザイマス、又羅馬字ト云フモノモ其使用ヲ成ルタケ廣メテ、羅馬字ヲ以テ此國語ヲ現ハスコトニシタイト云フ一般ノ希望ハ是ハ至極尤ナコトト思ヒマス、併ナガラ從來ノ國字ヲ廢シテ羅馬字ニスルトカ何トカ云フ考ヲ持テ居リマス譯デハナイノデアリマス、要スルニ羅馬字ト云フモノハ何處マデ用ヒラレルモノカ、又ドウ云フ風ニシテ之ヲ用フベキモノカ、其邊ノコトモ矢張リ調査ノ中ニ籠ッテ居ルコトト思ヒマス、大體私ノ考ヘテ居リマスノハ右申シマス通リノ趣意デアリマス

○男爵石黒忠憲君 今一應伺ッテ置キタイ、然ラバ文部大臣ハ此一月一日ニ東京朝日ニ出テ居リマンダノハ、文責ハ記者ニ在ルノデ、全然文部大臣ノ仰シヤッタ御言葉トハ違ッテ居ルト云フ御考デアリマスカ、且又文部大臣ハ、此文

ヲ讀ンデ見マスト、羅馬字ノ方ガ宜シイ、日本ノ國字モ變ヘ國語モ變ヘ……序ニ英語カ何カニシタナラバ尙ホ通用ガ宜カラウガ、サウモ參リマスマイガ、文部大臣ハ羅馬字ヲ採用ナサル御考ハナイノデアリマセウカ、モウ一ツハ一月一日ノ朝日新聞ニアリマスノハ文部大臣文學博士高田早苗ト書イテ載ッテ居リマスガ、文責ハ記者ニ在ルノデ、文部大臣ノ仰シヤツタコトトハ大分違テ居ルト認メテ宜シウゴザイマスカ

## 〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 唯今申シマシタ通リ大體ノ話ハ……大體ニ於テハ間違ッテ居リマスマイガ、併ナガラ今御讀ニナリマシタ通リノコトヲ申シタ譯デハナイノデ、全ク文責記者ニ在ルノデ、羅馬字ヲ採用シテ國字ヲ廢スル考ヲ持ツテ居ル次第デハアリマセヌ

○男爵石黒忠憲君 度々立チマシテ甚ダ煩ハシウゴザイマスガ、本員ハドウカ此文教ニ關係シマスコトデ、文部大臣ノ官名ヲ以テ御話ニナリマスコトハ、即チ官名ヲ以テ書クコトヲバ新聞ニ御許シニナリマス言論ニハ、慎重ノ御考ヲ要シマスコト存ジマス、本員ノ如キ愚昧者ハ、官名ヲ以テ新聞紙ニ載セラレ、ソレガ取消モ出ズニ載ッテ居レバ、ソレハ取りモ直サズ大臣ノ御説ト考ヘマスカラ、其邊ハドウカ御注意アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵關義臣君 先年國字ノ改良トカ、假名遣ノ改良トカ云フコトガアリマシタ、何年頃カツイ……餘程舊イコトデアリマスガ、其節イロハ四十八文字ノ中ニ「オ」ノ字ガ二ツアルカラ一ツハ削レバ宜イトカ、或ハ「ツ」ト「ス」ハ一ツニシテ濁ヲ打テバ同ジニナルトカ云フコトガアッタコトガアリマシタガ、全體其時分ハ確カ師範學校カ中學校カノ人ヲ集メテ文部省デ議セラレタコトガアリマシタ、所ガソレハ遂ニ結果モナクシテ今日マデ「オ」ノ字モ殘ッテ居リマスガ、「オ」ノ字モチリヌルヲノ「ヲ」トオクヤマノ「オ」ハ大ト小トノ違ヒガアル、之ヲ一ツノ字ニスルト云フ論ハ全體譯モナイ論デ、例ヘバ「オホフネ」ト云ヘバオクヤマノ「オ」ニナル、「ヲフネ」ト云ヘバチリヌルヲノ「ヲ」デアル、若シ之ヲ一ツニスルト云フトキニハ、億計弘計天皇ノ御名ノ如キ、御兄サンハオクヤマノ「オ」ノ字、御弟ノ方ハチリヌルヲノ「ヲ」ノ方デアル、或ハ神名帳ニ大山祇トカ云フノガアル、ソレモ大小ノ違ヒガアル、「オ」ノ字ニ二ツアルノ一字ニスルトカ、「ス」ノ字モ「ツ」ノ字モ濁ヲ打テバ同ジト云フ論モアリマシタガ、此度ノ改良ノ趣旨ハドウ云フコトデアリマセ

ウカ、又文部大臣ノ國字國文ヲ改良セラルル思召ハ、其邊ハドウナルカ、其様ナ杜撰ナ意見ガ立ツヤウニナツテハ困リマスガ、此度文部大臣ガ此機關ヲ設ケテ改良セラレルノデアレバ、其邊ノコトハ十分御見込ニ置カレテ、無鐵砲ナ改良ニナラヌヤウニシタイモノト註文シタイモノデアリマス、文部大臣ノ思召ハ如何デアリマスカ伺ヒタイ

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 唯今ノ御質問ニ御答イタシマスガ、此國語國字ノ改良ノ過去ノ歴史ヲ見マスト、色ミニナツテ居リマシテ、御說ノヤウナ方針ニナツタ時代モアルヤウデアリマスシ、ソレヲ又改メタ歴史モアルヤウデアリマス、無論調査會ヲ開イテ調査サセマス其結果トシテ、色ミニナ方針モ現ハレテ來ル譯デアリマスケレドモ、私一己ノ考トシテハ、平易簡明ニスルト云フコトハ必要デアリマスガ、謂ハユル無鐵砲ナヤリ口ヲスルト云フコトハ決シテ私ノ贊成スル所デナイノデアリマス、由來ヲ重ンジテ而シテ尙ホ平易簡明ニスルト云フ、穩健ナルヤリ方ニシテ賈ヒタイト云フコトヲ竊ニ期待シテ居リマス

○伊澤修二君 本員ハ先刻來谷森君ノ御質問、其他諸君ノ御質問並ニ文部大臣ノ説明モ承リマシテ一通り分リマシタガ、尙ホ文部大臣ニ一言申上ゲテ置キタインハ、此機關ヲイヅレ成立セシムルト云フコトニハナツテ居リマスガ、其中ノ機關ニ付テハ定メテ文部大臣ノ深イ御考モアラウト存ジマスガ、謂ハユル羅馬字説ノ人ヲ段々御集メニナリマシテモ、ソレハ役ニ立チマセヌ、此點ニ付テハ深ク御注意ヲナスツテ、即チ國語國文ノ素養ノアル、即チ日本ノ國言葉ノ如何ナルモノカト云フコトヲ知マタ者ヲ多數ニ御加ヘニナラスト、是ハ頗ル國家ノ大事ノコトト思ヒマスカラ一言御注意ヲ申シテ置キマス

○男爵高木兼寛君 唯今伊澤君ヨリ御注意ガアリマシタガ、本員モ全然同感ヲ持ツテ居ル一人デアリマス、國語ヲ簡易ニスルト云フ御話デアリマスガ、國言葉ヲ簡易ニスルト云フコトハ非常ナムヅカシイ問題デアル、「オ」ト「ヲ」ト云フコトニ付テ御話ガアリマシタガ、二ツノモノヲ一ツニスルト云フガ如キガ多ク集ツテ調査スルト云フコトニナレバ、國語ノ全體ヲ破壊スル憂ガアルト思ヒマス、全然同感デアリマスカラ、文部大臣ニ於テハ、委員ヲ御選ビニナルトキニ、國語ニ明カナ國言葉ヲ能ク解スル人ヲ集メテ御調査ニナラムコト

ヲ希望イタシテ置キマス

○平山成信君 本問題ニ付テ御問答ノ様子ヲ承リマスト、當局者ニ於テ既ニ相當ノ機關ヲ設ケルト云フコトヲ責任ヲ以テ明言ヲサレテ居ル、豫算ニモ何カ關係ガアルヤウニ思ヒマスカラ、此請願ノ趣意ハ既ニ達シテ居ルト思ヒマス、當局者カラサウ云フコトヲ聞キナガラ、此請願ヲ當局ニ廻シテ之ヲ御参考ニナサイト云フコトハ老婆心デナイ、不要ノコトダト思ヒマス、是ハ當局者ニ廻ス必要ハナイト思ヒマス、之ヲ別ニ採擇セヌデモ宜シカラウト思ヒマス、又請願者ニ於テモソレデ満足スルダラウト思ヒマス

○男爵石黒忠憲君 贊成

○男爵高木兼寛君 本員モ贊成デアリマス、從來ノヤウナ調査法ハ寧ロ御廢シニナツタ方が宜イト云フコトデ、先年ハ御廢シニナルコトニ贊成シタ一人デアリマス、既ニ當局デ機關ヲ御設ケニナルト云フ以上ハ、斯ノ如キ案ハ採擇ノ必要ハナイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本請願、請願委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○侯爵徳川義親君 日程ヲ追加イタシマシテ、假置場法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス、右ノ動議ヲ提出イタシマス

○男爵東郷安君 贊成

○伯爵奥平昌恭君 贊成

○伯爵林博太郎君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 德川侯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 付テハ是ヨリ假置場法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵青木信光君 贊成

○男爵高木兼寛君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ大原伯爵ノ動議ニ御

異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會ノ決議

通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、軍人恩給法規中改正ノ請願、會議、

第十一、米價調節ニ關スル請願、會議

意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

千葉縣安房郡北條町退役陸軍工兵中佐三村友鑑外二名呈出

京都府南桑田郡保津村平民農豫備役陸軍工兵少佐村山耕之助外百二十

二名呈出(三通)

高知縣土佐郡小高坂村土族無職業退役陸軍步兵中佐川口清俊外四十名

呈出

東京府豊多摩郡戸塚町平民退役海軍中尉中馬次郎兵衛外七名呈出

山口縣玖珂郡麻里布村後備役陸軍中將佐々木直外二十一名呈出

島根縣能義郡飯梨村平民農後備役陸軍步兵伍長足立貞三郎外六十九名

呈出(九通)

愛知縣名古屋市南區熱田東町平民無職業後備役陸軍砲兵少尉中村彌三

郎外十八名呈出

德島縣德島市大字富田浦町士族無職業三宅環外十一名呈出  
靜岡縣安倍郡長田村平民無職業退役陸軍步兵大尉戸田丑次郎外三十二

名呈出(二通)

京都市上京區中筋通石藥師下ル士族無職業退役陸軍步兵中佐長谷川操

外百一名呈出

埼玉縣北足立郡浦和町士族豫備役陸軍步兵大佐植村雄太郎外七名呈出

鹿兒島縣薩摩郡樋脇村士族農西田佐一郎外五十六名呈出

島根縣能義郡島田村農後備役陸軍步兵曹倉敷利三郎外十五名呈出

滋賀縣大津市神出土族醫師退役陸軍二等軍醫正村治重厚外千二百六十

三名呈出

東京府豊多摩郡戸塚町士族後備役陸軍步兵中佐水野勝太郎外六名呈出

宮城縣仙臺市北五番丁平民無職業退役陸軍步兵大尉大浦英外七十名呈

出

東京市牛込區矢來町士族豫備役海軍少將松本有信外八名呈出

東京府豊多摩郡澣谷町平民退役海軍少將澤良渙外二十二名呈出

東京市芝區三田小山町士族退役海軍少將平尾福三郎外二十四名呈出

東京府北豐島郡巢鴨町士族後備役海軍大佐佐々木廣勝外十二名呈出

長崎縣南高來郡島原村士族無職業後備役陸軍步兵中尉岡部胤次外四十

三名呈出(五通)

新潟縣中蒲原郡橋田村平民農豫備役陸軍步兵少尉吉井靜策外十八名呈

出(二通)

香川縣丸龜市北平山町士族無職業村岡五万治外百五十五名呈出(二通)

東京府豊多摩郡淀橋町士族無職業退役陸軍少將石原應恆外三十八名呈

出(三通)

青森縣青森市大字浦町平民會社員退役陸軍步兵大尉伊藤格明外五十六

名呈出(三通)

千葉縣山武郡源村平民退役陸軍步兵大尉並木鍊之助外一名呈出(二通)

東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町士族無職業比志島義輝外七十三名呈出

東京市小石川區小日向臺町三丁目士族無職業退役陸軍工兵中佐渡邊英

興外二十二名呈出

石川縣金澤市玄蕃町士族退役陸軍步兵大佐鈴木常武外七百九十五名呈

出

岐阜縣安八郡大垣町士族無職業退役陸軍少將可兒春琳外百十九名呈出

(九通)

徳島縣名東郡佐那河内村平民農佐藤只兵衛外二十名呈出

兵庫縣揖保郡揖保村平民農小河壽作外十二名呈出

富山縣下新川郡魚津町平民無職業退役陸軍步兵中尉長谷川秀夫外六名呈出

茨城縣多賀郡河原子町平民農後備役陸軍憲兵特務曹長大谷五郎次郎外十名呈出

北海道禮文郡香深村平民漁業鈴木竹治郎外一名呈出

大分縣北部郡青江村平民商仲野武一外十一名呈出

大阪市東區瓦町五丁目醫師退役陸軍三等軍醫正內藤直之外四名呈出

岡山縣苦田郡津山町無職業退役陸軍步兵少佐中山默誠外五十名呈出

長野縣小縣郡上田町士族後備役陸軍三等主計正村瀬楠太郎外一名呈出

埼玉縣北足立郡大宮町士族無職業退役陸軍砲兵少佐後藤欽外十一名呈出

兵庫縣姫路市北條口平民無職業退役陸軍步兵中佐伊東武外百十七名呈出

東京市芝區白金三光町平民退役海軍中尉森延之助外十四名呈出

巖手縣盛岡市平山小路士族退役陸軍步兵大尉柴内魁三外二十六名呈出

徳島縣三好郡辻町平民退役陸軍步兵中尉馬場修呈出

岡山縣後月郡西江原村平民無職業退役陸軍步兵中尉戸田晚香外三十七名呈出

長崎縣佐世保市清水町退役海軍中尉福本虎之助外二百八十四名呈出

(三通) 東京府豊多摩郡中野町士族退役陸軍步兵少佐野崎隆明外十一名呈出

東京市牛込區矢來町士族無職業退役陸軍砲兵大佐熊谷正躬外四十二名呈出

北海道札幌區南七條西一丁目士族農退役陸軍一等主計正松本騰四郎外九十五名呈出

東京市赤坂區青山南町二丁目平民無職業後備役陸軍步兵大尉江口三郎外二十六名呈出

東京市麻布區笄町平民退役海軍中將松永雄樹外三十名呈出

神奈川縣橫須賀市深田士族後備役海軍少將長井群吉外十三名呈出

兵庫縣姫路市坊主町士族無職業退役陸軍步兵少尉吉原留藏外三名呈出

秋田縣平鹿郡横手町平民官吏退役陸軍步兵中尉環貫毅外三十三名呈出

(三通)

東京府豊多摩郡代々幡村無職業山本マヌ外三十四名呈出

島根縣八束郡生馬村平民農豫備役陸軍騎兵中尉福田堅藏外三百五十六名呈出(二通)

茨城縣猿島郡古河町平民公吏長沼伊之助外十八名呈出

東京市本鄉區駒込曙町士族豫備役海軍大佐宇敷甲子郎外四名呈出

東京府荏原郡入新井村平民後備役海軍少將鎌木誠外八名呈出

東京府荏原郡品川町士族退役海軍中尉深津龜吉外十七名呈出

神奈川縣橫須賀市中里平民角田曾重郎外四十一名呈出

石川縣石川郡戶板村後備役陸軍砲兵中佐志村経三郎呈出

福岡縣小倉市鍛冶町平民無職業退役陸軍砲兵少佐古賀有文外十名呈出

愛媛縣北宇和郡宇和島町平民無職業梶原義眞外十二名呈出

熊本縣熊本市新屋敷町無職業鈴木利亨外五十四名呈出

東京府豊多摩郡大久保町士族無職業退役陸軍步兵大尉安藤金三郎外二十七名呈出

鹿兒島縣指宿郡指宿村士族醫師後備役陸軍二等軍醫高橋恵惠外二十四名呈出

島根縣能義郡廣瀬町士族退役陸軍少將熊谷宣篤外二十名呈出

高知縣高知市雜喫場士族無職業矢野熊外八十三名呈出

長野縣北佐久郡五郎兵衛新田村平民後備役陸軍憲兵少佐土屋芳藏外一名呈出

東京府北豐島郡高田村平民無職業退役陸軍少將伊崎良熙外十一名呈出

群馬縣高崎市相生町平民無職業退役陸軍步兵大佐橋七三郎外五十九名呈出

山梨縣東山梨郡春日居村平民教員豫備役陸軍步兵中尉蘆澤龜藏外六名呈出

千葉縣君津郡龜山村平民農笈川顯外十七名呈出

埼玉縣北埼玉郡利島村平民農荻原榮吉外六名呈出

東京市神田區駿河臺南甲賀町士族無職業後備役陸軍歩兵少佐川瀬文二

シタ、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

外四十四名呈出

兵庫縣加東郡瀧野村平民農大久保吉太郎外百三十三名呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタルモ該法律ハ恩給ヲ受クルノ事由カ改正法律施行期ノ前後ニ生シタルニ因リテ其ノ恩遇ヲ異ニセラルモノニシテ啻ニ彼此權衡ヲ失スルノミナラヌ種種ノ不利ヲ生スルニ依リ同法附則ヲ改正シ明治四十四年三月三十日以前ニ生シタル事由ニ基キ恩給ヲ受クル者ニモ齊シク改正法ノ恩典ヲ與ヘシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

### 意見書案

#### 米價調節ニ關スル件

德島縣德島市下助任町平民鈴江廣吉外二千三百三十九名呈出(五十通)右ノ請願ハ政府ハ米價調節ノ方策ヲ定メ之ヲ實施スル所アリシト雖未以テ農村ノ疲弊ヲ救濟スルニ足ラスノ如キハ其ノ方法ニ於テ闕クル所アルニ因ルヲ以テ米券倉庫ヲ普及セシメ政府及府縣ニ於テ相當ノ備荒貯穀ヲ爲シ及日本勸業銀行ヲシテ年々收穫米ノ幾分ヲ買入レシムル等之カ根本的方法ヲ採ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○議長(公爵德川家達君) 此請願二件ハ請願委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本日ノ議事ハ終リマ

午前十一時五分散會

ス